



【解説】京成線沿線の住宅地に残るクロマツのある街並みは、かつてこの地が海辺であったことを今に伝えている。

# 第15回 市川市景観賞決定!

市川市景観賞は、良好な景観の形成に顕著な功績があった方に対して送られる賞です。

第15回は、2組が受賞されました!

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、まん延防止等重点措置が適用されたため、市役所で予定されていた授賞式は中止となり、受賞者に直接表彰状をお届けいたしました。



おめでとうございます!

【市川市景観賞の区分】

啓: 啓発イベント部門 建: 建築・まちなみ部門 緑: 緑化部門 清: 清掃部門 他: その他

## 建 西洋館倶楽部の保全・管理



## 建 たび「佇美の家 市川市菅野三丁目 景観協定」区域の街づくり

(左) 渡辺さん  
(右) 街づくり部長



ポラスガーデンヒルズ株式会社  
(左) 工藤さん  
(中央) 松井さん



### 概要

- ・建築場所: 新田5丁目
- ・規模・構造等: 木造3階建て 建築面積約145㎡
- ・平成11年7月8日 登録有形文化財の登録
- ・昭和2年に別荘建築として日本人により設計・施工された洋館で、玄関ホール部のベイウインドウ状の張り出しと南西北3面の袴腰型切妻破風(はかまごしがたきりづまはふ)を中核とする屋根構成に特徴がある。

### 概要

- ・事業区域: 菅野3丁目
- ・事業面積: 2,500㎡ 宅地分譲: 16戸
- ・コンセプト: 菅野という街に合わせた上質で経年変化の美しい景観づくり
- ・道路沿いや敷地境界フレームは高さを抑えて広がり感を意識し、花台やベンチを配置することで住民同士のコミュニケーションづくりのきっかけとしている。また電柱の支線のカラーをブラウンにすることで風景に馴染みやすくしている。



# 今年度受賞者紹介

景観賞受賞しての感想

ポラスガーデンヒルズ株式会社

## 受賞理由

外観デザイン：周辺でまとまった分譲地がない中、菅野という格式ある土地に街並み一体をトータルデザインし、歴史ある街に石目調と木目調・チタンを組み合わせた素材感のある外観とすることで、まるで元から佇んでいたかのような建物の配置・デザインを意識している。

景観・安全計画：夜間照明は「灯かりのいえなみ協定」を締結し、夜間の視認性や防犯性を高めている。

緑化計画：外部デザイナーと共同設計しており、アオダモ、シマトネリコを中心に緑地率にも配慮し枝葉の成長を見越しながら丁寧な植え込みを行うことで、室内からも歩きながら心地よさを感じられるように工夫している。

第11回、12回に続き3度目を目指していたのでプレッシャーもありましたが、受賞することができ“ホッと”しました。今回、色々な方々のアドバイスとご協力をいただきながら取り組むことができたので、街並み景観としては名前の「佇美（たび）の家」通り細部にまで気を配った美しい佇まいになったと自負しております。ご協力いただいた方々、ありがとうございました。



工藤政希さん

Q 完成に至るまで苦労されたことはありますか？

協定書を締結するまで市役所とのやり取りが大変でした（笑）

Q 景観上、特にこだわった点はどこですか？

Q 景観協定のコンセプトを教えてください。

緑が多く、文学や歴史が感じられる菅野の地に相応しい風格と気品のある街並みを創出しました。周辺環境とも調和しながら素材感と木々の緑の心地よさが、住民と地域の人に伝わるよう計画しました。

敷地が広くないのでオープン外構にし、限られたスペースに花壇や花台を設置し、通りの広がりや住民同士のコミュニケーションを生み出すように工夫しました。また、緑被率と樹形にも配慮しエクステリアデザイナーに木の選定と配置をしてもらいました。

Q 景観を維持していくために必要なことはなんですか？

木々等のメンテナンス方法、協定のルールや住民の景観への意識が浸透するまで、企業がサポートしていく必要があると思います。



## 「佇美の家 市川菅野三丁目 景観協定」区域のまちづくり



## 受賞理由

建物内部は和洋折衷のつくりとなっており、1階は洋風の玄関ホール、暖炉のある居間等からなり、廊下の漆喰天井には当時のままの照明や細やかなデザインが残されている。2階は書院造の和室が中心となり障子で囲まれた座敷の周りに広縁をとり、和と洋の緩衝ゾーンとしている。

平成7年頃及び平成29年に屋根や外壁等の補修工事を実施し、建築当初の色彩に近づけるよう個人の負担において保全を行っている。

週末の大半がギャラリー展示やコンサートの開催などで開放され、25年目となる。市民及び近隣都県から多方面の分野の人が訪れている。

## 景観賞受賞しての感想

90年市民に親しまれてきた建物でありこのような景観賞を頂き光栄に思います。

渡辺俊司さん

Q この建物はどのように利用されていますか？

ここ数年コロナの影響もあり開催頻度が減ってきていますが、コロナ前には週末コンサートを開催していました。音楽をやりたい方々に場所を提供して、50～60人規模で行うことができます。

Q 建物をどのように維持していますか？

定期的に建物を点検し、居住をやめるタイミングで外装の補修を行いました。補修前には蔦や雨漏りがあり、以前のものに近くなるように行いました。

Q 今後の取り組みについて考えていることは？

建物を維持しこのような場所を提供し続けていきたい。そのためには若い力を取り入れ、この建物を残していきたいと思っています。



## 西洋館倶楽部の保全・管理



# 景観見賞受賞者に聴く

Vol.6

## 受賞理由

「まちづくり」について、「まちなかの自然環境」、「まち並み景観と建築」、「暮らしの歴史と文化」の観点から分かり易い題材を採り上げ、住環境と景観の向上を目指し、市民レベルで活動している。

このコーナーでは、歴代の景観賞受賞者にどのような景観まちづくりを行っているか、お話を伺います。

今回は、**第10回景観賞受賞者の**

**まちづくり家づくりCafe Ichikawa**

さんです。

## ☆活動紹介☆

まちづくり家づくりCafe Ichikawaは、市川の美しい景観を守り、将来につなげることを目的に活動しています。クロマツ、歴史文化、古い民家、まち並み、路地の魅力などの観点から定期的なまち歩きワークショップ、写真・資料展示、講師を招いてのフォーラムの開催やまち歩きマップの作成など、さまざまな活動を行っています。



行徳 権現道まち歩きワークショップ



今回インタビューにご協力いただいた皆様です！  
前列：左から高野さん、森田さん、主原さん  
後列：岩田さん、佐藤さん、高橋さん、高木さん



マップづくりのために写真を選んでいきます！



講演会「クロマツのある市川の景観の意味」  
千葉大学 藤井英二郎教授（当時）



これまでに4地域のマップを作成し、1部100円で販売中。また、まち歩きワークショップに参加する方には、該当地域のマップを資料としてお渡ししています。  
第1弾：「市川・真間・菅野」  
第2弾：「八幡、中山」  
第3弾：「江戸川河畔から国府台」  
第4弾：「行徳」

## ☆インタビュー☆

Q 会の名前の由来は？

景観まちづくりについて関心のある人たちが集って、みんなでしゃべりできる場所を提供したいという想いから命名しました。  
将来的には、カフェを作れるとよいなという願いも込めています。

Q まち歩きマップはどのように作成していますか？

まち歩きワークショップなどで撮った風景写真がたまると、パネル展示を実施していますが、より多くの人に市川の景観の現状について関心を持ってもらい、理解を深めてもらいたいという想いから、パネル展示の資料などを編集してマップを作成しています。

Q 市川市の景観の重要な要素は何だと思いますか？

歴史・文化とクロマツだと思います。  
特にクロマツは市川市にとって特別なもの。全国で、クロマツを市の木としている自治体は多くありますが、市川市ほどクロマツが市街地の中に位置づけられ、地域の景観形成において重要な役割を担っているまちは他にはないと思います。  
しかし、市民にクロマツがまだまだ浸透していないと感じているため、クロマツ観察ワークショップやクロマツの風景写真と文人たちの作品を結び付けたパネル展示、講演会を開催し、啓発に努めています。

Q 活動を継続する秘訣は？

常に新しい企画アイデアを考え、実行に移すことです。



## 会員随時募集中！

年会費3,000円  
会員にはまち歩きマップを無料で差し上げます。  
また定員が限定されるイベントでは、会員優先にする場合もあります。  
お問い合わせ：（代表）高木 彬夫  
arch\_takagi@nifty.com

イベントは、地域新聞またはTwitterでお知らせしています。  
Twitter : @ichimachicafe

Q 今後やっていきたい活動は？

個人宅のクロマツの数が年々減ってきています。クロマツのある風景をできるだけ残すために、みんなで知恵を出し合いながら、検討していきたいです。たとえば、クロマツのオープンガーデンなど、今までにない企画を提案したいと考えています。  
また、活動を通じて発信している「景観まちづくり」のヒントを行政が施策に反映していくような仕組みづくりができればよいと思います。

# 地域で探そう!



## 花の景観の巻



春になり、市川市でも美しい花を見ることができるようになりました。今回は心を豊かにしてくれる春ならではの「花の景観」をご紹介します。春のうらかな日差しのもと、お散歩の楽しみにいかがでしょうか。

### 〈桜の景観〉塩浜橋

橋の北側では2月から3月にかけて河津桜や菜の花が、南側では4月にソメイヨシノが満開。同じ春でも異なる景観を見せ、私たちを楽しませてくれる塩浜橋。春には何度も歩きたくなる場所です。

【見ごろ】 菜の花 2月下旬～3月下旬  
河津桜 2月下旬～3月上旬  
ソメイヨシノ 3月下旬～4月上旬  
【住所】 南行徳4丁目3番地先



### 〈バラの景観〉大町公園

市民の花として長く愛されているバラ。動植物園内にある大町公園では「ローズいちかわ」をはじめとする110種ものバラが咲き誇ります。市内随一の自然を誇る大町公園で、ぜひ春の彩り豊かな景観をご覧ください。

【見ごろ】 5月中旬～6月初旬  
【住所】 大町284番地1外  
【時間】 午前9時～午後5時  
【電話】 047-339-4411  
【休園】 年末年始



10月には  
秋バラも  
楽しめるよ!



大町公園は  
入場料  
無料です



### 〈藤の景観〉桜見公園

市川市で有名な藤の名所はいくつかありますが、今回はあまり知られていない隠れスポットの桜見公園をご紹介します。小さな小さな公園に、小さな小さなかわいらしい藤棚があります。藤はもちろん、花壇の花も美しく咲きますので、ぜひご覧あれ。お散歩の小休憩に♪

【見ごろ】 4月下旬  
【住所】 八幡6丁目35番地先

とっても  
小さな  
公園です♪

